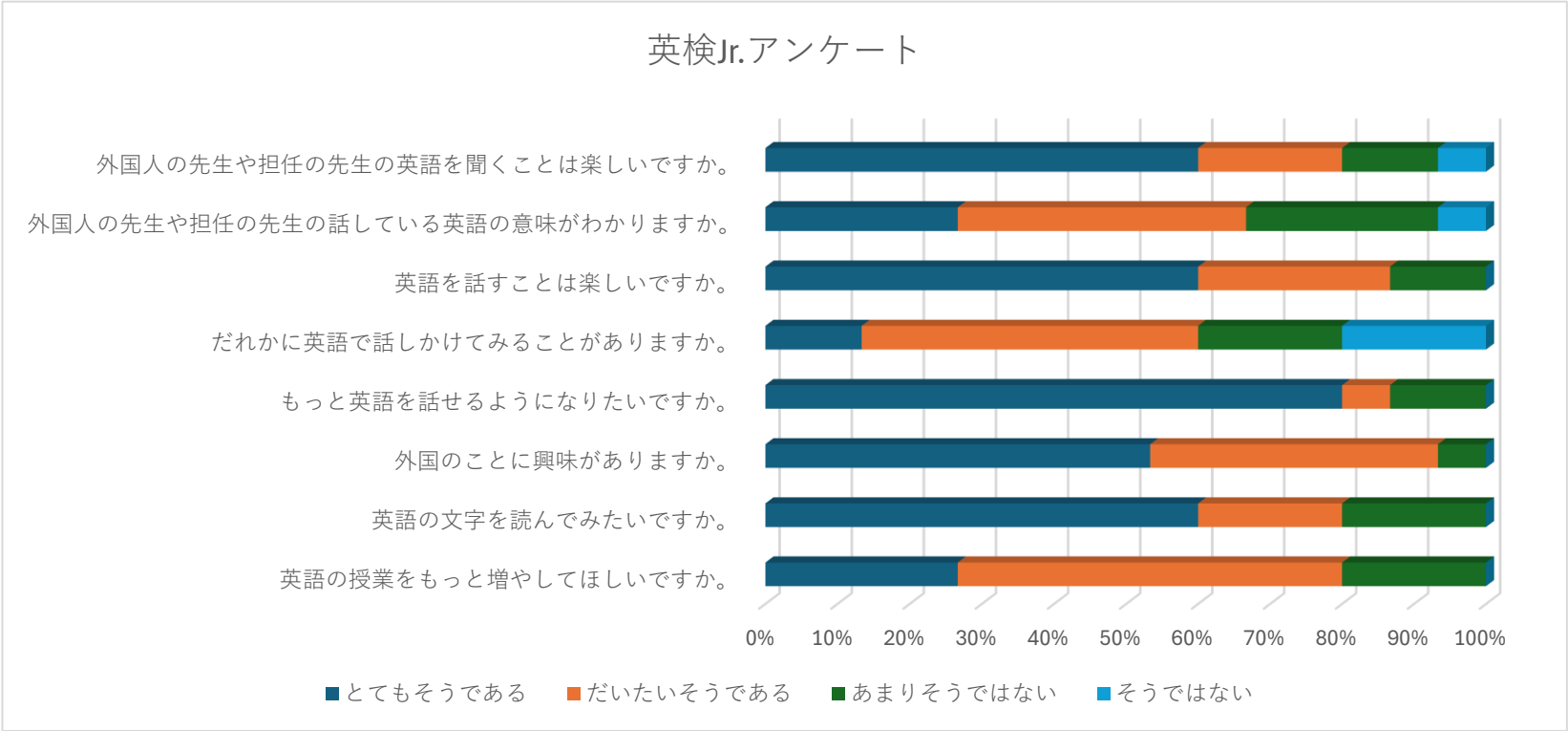


令和7年度 英検Jr. 結果

各グレード平均正答率（％）

	4 年 (Bronze)	5 年 (Silver)	6 年 (Gold)
本校	84	85	63
御船町	84	81	65

英検Jr. 児童アンケート結果

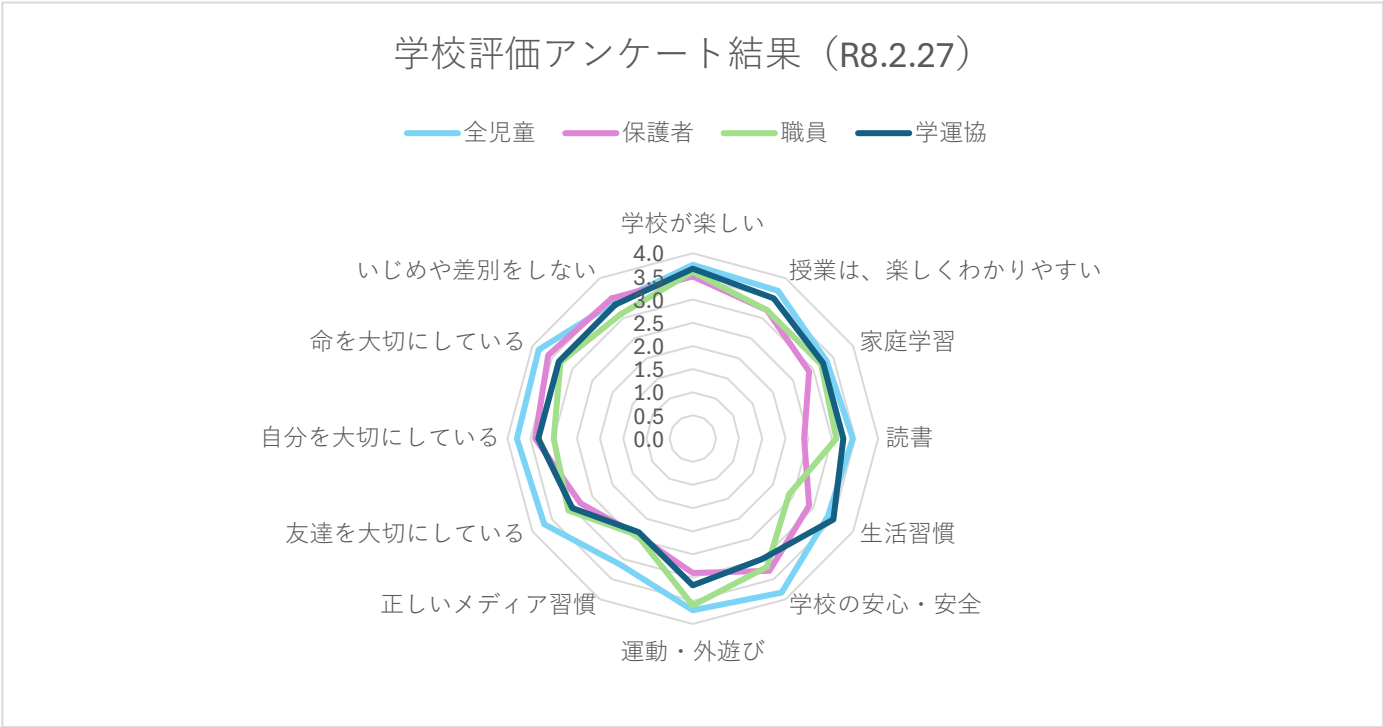


考察

- 成果**
- ・テスト結果は町の平均正答率と比較して4年生が同じ、5年生が4ポイント上回り、6年生が2ポイント下回った。
 - ・全体的に英語について肯定的に感じている児童が多かった。特に「英語を話せるようになりたい」と思っている児童が多かった。
 - ・外国の文化に興味を持っている児童が90%以上と多い。

- 課題**
- ・「外国人の先生や担任の先生の話している英語の意味がわかりますか？」については「あまりそうではない」と「そうではない」の割合が比較的高い。聞き取りの指導に力を入れる必要がある。
 - ・英語で話しかけることに消極的な児童が比較的多い。英語で話す機会を積極的に授業に取り入れる必要がある。

令和7年度 学校評価アンケートより



- ・保護者による「授業は、楽しくわかりやすい」の項目で、3.2ポイント（評価：4ポイントが満点）であった。また、学校運営協議会による同項目の評価は3.5ポイントであった。英語の授業に関してはALTが定期的に配置されていることで、ネイティブの発音に触れることができている。また、英語教育指導員も定期的に来校し授業に入るだけでなく、廊下の英語掲示物の作成など、環境整備にも力を入れている。
- ・1年生から外国語活動を取り入れているため、小学校6年間で英語に親しむことができる。
- ・令和7年度は、5，6年児童が同じ町内の高木小学校とオンラインで外国語の交流を行った。（「滝尾小学校英語活動の様子」参照）